

那須平成の森 冬のできごと(12月~2月)

12月 自然体験学習プログラム「背守りづくり」「伝承切り紙」

■背守りづくり

「背守り」とは、親が子どもの健康と安全を願って、子どもの着物の裏に縫い付ける「しるし」のことで、鎌倉時代からその風習があったとされています。今回は、参加者一人一人が「祈り」をこめてオリジナルな背守りをつくりました。

■伝承切り紙

日本には、切り紙細工を正月や神楽、お盆灯籠などに使う風習があり、特に東北や西日本の一部ではお正月飾りとして親しまれています。そこで、2022年の干支である「トラ」や那須平成の森に棲んでいる「ウサギ」や「ヤマネ」を題材にした、お正月に飾る切り紙をつくりました。良い一年になりますように！（若林千）



▲背守りづくり

1月 特別プログラム「新月のナイトハイク～新月の森で動物たちの感覚を意識し、自分と自然との繋がりを実感しよう！～」

夜の森は動物たちの世界。その世界にお邪魔すると、私たち人間が持っている感覚が敏感になり、自然との繋がりを実感できます。今回は「五感」と「自然との繋がり」を意識したナイトハイクを実施しました。

当日は曇り空で満点の星空とはいきませんでした。夜の森ならではの静寂を感じられました。特に、カラーボールを使った色の見え方では、真っ暗な中で見るとこんなにも違う風に見えるのかと、参加者の皆さんは驚かされていました。少しでも、動物たちの感覚の鋭さを実感していただけたようです。（西垣）



2月 特別プログラム「満月のナイトハイク～“冬×夜の森×月の光”を体感しよう～」

初めて担当した特別プログラムでした。私自身夜の森が怖いというもあり、いつも以上に不安な気持ちで当日を迎えました。しかしいざ暗い森の中を歩いてみると、参加者一人ひとりの存在を強く感じ怖い気持ちにならなかったのです。視界が限られるため他の感覚が研ぎ澄まされていたことで、日中では感じられない感覚を体験できました。

出発前には夜の森に対して「少し怖い」という印象を持っていた参加者の方も、最後に「穏やかに過ごすことができた」と話していただき、その場で他にも同じような気持ちになった人がいたという喜びも共有できました。（植村）



那須平成の森基金（サポーターの会）報告

平成23年に立ち上げた「那須平成の森基金」は、満10周年の節目を迎えたことや運営体制などの見直しを行った結果、令和4年度をもって活動を終了することとなりました。令和4年度は、小中学校への費用負担支援等の活動を行います。紙面をお借りして、これまで多大な協力をいただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。

■お問い合わせはこちらへ

〔那須平成の森の活動内容、プログラムや自然情報については…〕

那須平成の森フィールドセンター
9:00～16:30（5・8・10月のみ9:00～17:00）
水曜休園（GW、お盆、年末年始は無休、月により臨時休園日あり）
〒325-0302 栃木県那須郡那須町高久丙3254
TEL 0287-74-6808 FAX 0287-74-6809
HP <https://nasuheisei-f.jp>

〔那須平成の森基金・サポーターの会への入会、助成活動については…〕

日光国立公園那須平成の森基金
那須平成の森基金事務局（サポーターの会事務局）
TEL 0287-74-6812（平日9時～17時）
HP <https://nasuheisei-f.jp/kikin/>

〔モニタリング調査、那須平成の森の全体計画等については…〕

環境省関東地方環境事務所日光国立公園那須管理官事務所
〒325-0301 栃木県那須郡那須町湯本207-2-2F
TEL 0287-76-7512 FAX 0287-76-7513
HP <http://kanto.env.go.jp/>

日光国立公園

那須平成の森 通信



第45号
令和4年4月



今年度もよろしくお祈いします！

1年中、森の芸術探し
たんたん

自然をいっぱい
楽しもう！
ガッキー

さらに深め、
究める2年目に！
ともみん

森の不思議を探そう！
りーた

この森に来て早や12年目、
おだやかな自然に心も
落ち着きます waka

新人です。
一緒に森を楽しみ
ましょう！ のこ

一緒に自然の面白さを
発見&堪能しよう！
カリー

バカ戸
新生、那須平成の森の
誕生です！ マルコ

引き続き、今年も
「センス・オブ・ワンダー」
を磨きます！ ちいねえ